

V 資料編

1 富士市教育行政のあゆみ（略記）

令和5年5月1日現在

年	月	日	事 項
昭和21	3	5	米国陸軍省から派遣された教育使節団一行 27 名が来日 （日本教育制度の基本改革を行うべく諸項目の勧告）
	12	27	教育使節団に協力するため教育刷新委員会が設けられ第一回建議を行う市町村及び府県に一般地方行政から独立して教育行政を行う公選による教育委員会を置き、府県間の教育行政の不均衡の是正を行うことを勧告
22	3	31	「教育基本法」「学校教育法」が公布
	4	1	新制度による小・中学校の六・三制が発足
23	4	1	吉原市誕生（小学校 3 校・吉原、今泉、伝法、中学校 1 校・吉原）
	7	15	「教育委員会法」が公布
24	1	12	「教育公務員特例法」が公布
	6	10	「社会教育法」が公布
25	4	30	「図書館法」が公布
	5	30	「文化財保護法」が公布
	12	1	吉原市に教育委員会が置かれ、事務局に 1 室 3 課を置く 同時に公選による教育委員が就任
26	12	1	「博物館法」が公布
	12	6	富士公民館開館
27	10	1	富士町、鷹岡町、田子浦村、岩松村に教育委員会が置かれ、それぞれ公選による教育委員が就任
	11	1	教育委員会法の全面的実施により全国の市町村にもれなく教育委員会が設置される
28	1	10	教育制度の基本及び教育・学術・文化関係の基本的な重要施策を調査審議する機関として中央教育審議会が発足
29	3	31	富士市誕生 富士町、田子浦村、岩松村が合併 小学校 4 校：富士第一、富士第二、田子浦、岩松、中学校 3 校：富士、田子浦、岩松
	10	1	富士市公選による教育委員が就任
30	2	11	元吉原、須津、吉永、原田の各村が吉原市に合併 幼稚園 3 園：元吉原、昭和、原田 小学校 9 校：吉原、今泉、伝法、神戸、元吉原、須津、吉永第一、吉永第二、原田 中学校 6 校：吉原第一、吉原第二、穆清、原田、元吉原、須津 大淵村が吉原市に合併（幼稚園 3 園、小学校 11 校、中学校 7 校）
	4	1	大淵第二小学校を開設（児童数・124 名）
	4	3	（大淵小学校より独立、大淵第二小学校となる）
	4	15	大淵幼稚園を開園
31	4	1	浮島村西部三区（船津、西船津、境）が吉原市に合併
		2	吉原市立吉原東小学校を創立、同小学校、須津中学校へ編入

年	月	日	事 項
昭和31	6	30	「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」公布
	10	1	教育委員が任命制となり、各市町村に長の任命する教育委員が就任 (富士：井上俊夫、滝川武司、初見五郎、田杉豊作、涌田隆一) (鷹岡：石川軍治、西村寿、村上勝次郎、都築千代治、山本英彦)
	10	3	(吉原：佐野熊次郎、林玄嗣、渡辺仙太郎、水野精一、大石英)
34	12	28	公民館の設置及び運営に関する基準が告示
35	4	1	吉原第三中学校を開校 (吉原市：穆清、原田両中学校を統合して創立 生徒数・929名)
	10	1	田子浦公民館、岩松公民館を開館
36	4	1	富士南中学校を開校 (生徒数1年生・273名)
	6	16	「スポーツ振興法」が公布
37	4	1	吉原東中学校を開校 (生徒数2年生・56名、1年生74名)
	4	10	吉原市立商業高等学校を開校 (新入生・244名)
	9	1	静岡県立吉原林間学園が開設 児童福祉法に基づく情緒障害児短期治療施設。同時に特殊学級として治療学級を大淵第一小学校に併設
39	2	11	吉原市立図書館を開館 (41.4.1 富士市立中央図書館に改称)
41	7	1	鷹岡公民館を開館
	7	11	吉原市立青少年の家を開設
	11	1	富士市誕生 吉原、富士、鷹岡2市1町合併 幼稚園7園、小学校17校、中学校12校、商業高校1校
42	4	1	青少年補導センターを開設
43	6	1	「富士市立公民館の設置及び管理等に関する条例」制定
	9	26	「富士市立公民館の設置及び管理等に関する条例施行規則」制定
44	5	31	田子浦公民館を改築竣工
45	1	1	南幼稚園を開園 (25.5.5 私立東芝幼稚園として創立されたものが富士市に移管)
	11	1	須津公民館、原田公民館、大淵公民館、吉永公民館を開館 広見小学校を開校 (児童数・954名)
	12	1	元吉原公民館を開館、
47	4	1	浜幼稚園を開園 天間幼稚園を開園
48	1	13	東公民館を開館 (東小学校体育館に併設)
	4	1	丘小学校を開校 (児童数・504名) 伝法公民館、今泉公民館を開館
	6	1	市民プールを開設 (敷地面積 11,935 m ² 、プール水面積 2,235 m ²)
49	4	1	岳陽中学校を開校 (生徒数・236名) 富士駅南公民館を開館
	10	1	少年自然の家を開設
51	4	1	神戸公民館を開館
	7	11	野球場を開設 (敷地面積 25,000 m ² 、収容人員 13,400人)

年	月	日	事 項
昭和52	4	1	富士見台小学校を開校（児童数 433 名、学級 12 学級、教職員 22 名）
53	4	1	勤労者体育センターを開設（敷地面積 5,329 m ² 、建物面積 2,174 m ² ） 富士南小学校を開校（児童数 1,116 名、学級 28 学級、教職員 42 名） 県立富士東高等学校が開校 広見公民館を開館
54	4	1	天間小学校を開校（児童数 716 名、学級 19 学級、教職員 23 名）
55	11	1	西図書館を開館
56	3	25	樋代官長屋門、原泉舎移築復原竣工
	3	31	吉永第二小学校・吉原第三中学校の勢子辻分校を閉校 （明治 39 年 2 月 10 日鶴無ヶ淵尋常小学校・穆清中学校の勢子辻分校として創立。昭和 56 年 3 月児童生徒数 7 名となる）
	4	1	吉原北中学校を開校（生徒数 401 名、学級 10 学級、教職員 23 名） 機構改革により文化振興課を設置（体育保健課をスポーツ振興課に改称） 事務局 5 課、1 出先機関並びに教育機関として公民館 15 館、図書館 2 館、博物館、少年自然の家、青少年補導センター及び商業高校、幼稚園 9 園、小学校 22 校、中学校 14 校となる 富士南公民館を開館
		25	富士市立博物館を開館
57	2	1	吉原公民館を開館
	4	1	富士市教育文化奨励賞授与要綱制定
	6	1	陸上競技場開設 公認 3 種陸上競技場 陸上競技場全体面積 25,000 m ²
58	2	8	横浜古墳移築復原竣工
	3	25	富士市教育文化奨励賞授与規則制定（57 年制定同要綱廃止）
	4	1	富士見台公民館を開館 視聴覚ライブラリーを開設（社会教育課内）
59	4	1	丘公民館、天間公民館を開館 庭球場開設（全体面積 15,000 m ² ） 機構改革により青少年課を新設（富士市勤労青少年ホームも所管）、スポーツ振興課、文化振興課を統合して文化体育課を設置（市民会館、体育館等も所管）及び青少年補導センターを青少年相談所に改称
59	4	1	事務局 5 課、教育機関として公民館 20 館、図書館 2 館、博物館、少年自然の家及び青少年相談所並びに商業高校、幼稚園 9 園、小学校 22 校、中学校 14 校となる
	7	22	第 1 回富士市青少年の船が三宅島を寄港地として実施（研修生 74 名スタッフ 16 名、計 90 名）
61	4	1	青少年センター開設（富士市勤労青少年ホーム廃止）
	6	27	弓道場開設（全体面積 1,500 m ² ） 総合運動公園内に運動広場開設（全体面積 9,900 m ² ）
62	3	10	東公民館移転新築（東小学校より独立）
		30	博物館工芸室、常設展示替
	4	1	東図書館を開館（吉永公民館改築併設）

年	月	日	事 項
平成元	4	1	岩松北小学校を開校（児童数 581 名、学級数 17 学級、教職員 31 名） 温水プール開設（全体面積 2,114.43 m ² ）
	2	4	18 富士文庫を開館（鷹岡市民プラザ併設）
	3	3	1 富士市立体育館改築竣工
		4	1 機構改革により文化体育課を分離し、文化振興課と体育振興課を設置 事務局 6 課、教育機関として公民館 20 館、図書館 4 館、博物館、少年自然の家及び青少年相談所並びに商業高校、幼稚園 9 園、小学校 23 校、中学校 14 校となる
	4	4	1 吉永北公民館を開館
	5	3	1 吉原商業高等学校新校舎竣工
		4	25 富士中央小学校を開校（児童数 469 名、学級数 15 学級、教職員 29 名）
	6	4	16 3 歳児保育を開始（昭和幼稚園、浜幼稚園）
		11	1 富士市立歴史民俗資料館開館
	7	10	4 新富士市立中央図書館を開館
	8	6	15 砂山公園プールオープン 愛称名「富士マリンプール」
	9	3	25 富士市歴史民俗資料館収蔵庫新築竣工
		4	1 富士市生涯学習推進プラン「ふじトウモロウスクール」発刊
	10	4	1 青葉台小学校を開校（児童数 434 名、学級数 12 学級、教職員数 26 名）
	12	4	1 機構改革により社会教育課、青少年課を統合し、生涯学習課を設置 事務局 5 課、教育機関として公民館 22 館、図書館 4 館、博物館、少年自然の家、青少年相談所及び青少年センター並びに商業高校、幼稚園 9 園、小学校 25 校、中学校 14 校となる
			16 中央図書館今泉分室開館
		8	10 中央図書館分館開館
	13	4	1 機構改革により文化振興課、体育振興課を統合し、文化スポーツ課を設置 事務局 4 課、教育機関として公民館 23 館、図書館 4 館、博物館、少年自然の家、青少年相談所及び青少年センター並びに商業高校、幼稚園 9 園、小学校 25 校、中学校 14 校となる 青葉台公民館を開館
	14	4	1 富士北公民館を開館
	15	3	20 田子浦公民館を増築し、「中央図書館田子浦分室」を設置
		12	10 「スポーツ振興計画」実施計画を作成
	16	4	1 教育総務課総務担当を企画総務担当に改編 機構改革により文化スポーツ課を分離し、文化振興課とスポーツ振興課を設置 事務局 5 課、教育機関として公民館 24 館、図書館 4 館、博物館、少年自然の家、青少年相談所及び青少年センター並びに商業高校、幼稚園 9 園、小学校 25 校、中学校 14 校となる
	18	2	1 「富士市子ども読書活動推進計画」策定
	19	9	28 「富士市まちづくりセンター条例」制定

年	月	日	事 項
平成20	4	1	機構改革により公民館がまちづくりセンターの名称に変わり、市民部まちづくり課へ、幼稚園が福祉部こども保育課へ移管。それに伴い、生涯学習課が社会教育課に改編。また、学校教育課に教育指導室を設置
		4	西図書館を富士市交流プラザ内に移転開館
		20	中央図書館大淵分室開館
		11	1 富士川町との合併により、富士川体育館、富士川河川敷憩いの広場運動施設、富士川学校給食センターを設置。また、小学校 27 校、中学校 16 校となる。
		11	5 中央図書館富士川分室開館
22	3	31	「スポーツ振興計画」の第二期計画書（計画期間：平成23年度～平成32年度）を作成
23	3	22	「富士市教育振興基本計画」を策定
	4	1	「第二次富士市子ども読書活動推進計画」を策定 伝法小学校に肢体不自由特別支援学級を開設 富士市立高等学校を開校（吉原商業高等学校から学科改編、開校式 4/7）
	6	24	「スポーツ振興法」が全部改正され「スポーツ基本法」が公布
	8	1	学校OA化推進事業により校務システム開始
24	4	1	電話相談「青少年相談ふじ」の愛称を「ほっとテレフォン・ふじ」とする。
	8	5	「第29回富士市青少年の船」実施→平成25年度以降の開催の中止を決定
25	11	1	「富士市文化振興基本計画」を策定
	12	23	全日本大学女子選抜駅伝競走（富士山女子駅伝）開催
26	8	11	第1回青少年体験交流事業「キズナ無限∞の島」開催（研修生136名、スタッフ38名）
27	2	18	富士川第二小学校をコミュニティ・スクールに指定
	3	11	富士市立博物館屋外収蔵庫竣工
		31	青少年センターを閉館
	4	1	機構改革により学務課を新設 富士市教育プラザを開所（落成式典 4/6） 教育プラザ内に教育研修センター、特別支援教育センター、青少年教育センター、青少年相談センターを開設
		28	教育プラザに若者相談窓口を設置
28	2	22	「富士市教育振興基本計画 後期実施計画」を策定
	4	1	少年自然の家・青少年の家を指定管理へ
		29	富士山かぐや姫ミュージアム落成記念式典
	8	1	学校OA化推進事業により校務システム更新
	11	1	富士市文化会館にふじ・紙のアートミュージアムを開設
29	6	21	吉原小学校、伝法小学校、富士第二小学校、吉原第一中学校及び富士川第二中学校に学校運営協議会を設置
	8	5	中学校英語科教員を米国オーシャンサイド市へ研修派遣
30	1	22	富士市いじめ防止基本方針策定
	2	21	富士市小中連携・一貫教育基本方針策定
	4	1	富士見台小学校に外国人児童生徒支援のための国際教室を開設
	8	11	小学校教員1人、中学校英語科教員1人を米国オーシャンサイド市へ研修派遣
	10	1	学校図書システム及び小中学校ICT機器等の更新

平成31	4	23	須津小学校、田子浦小学校、鷹岡小学校及び富士見台小学校に学校運営協議会を設置	
令和元	8	10	小学校教員1人、中学校英語科教員1人を米国オーシャンサイド市へ研修派遣	
2	3	3	新型コロナウイルス感染症予防のため、3月19日まで市立小・中学校の臨時休業措置実施	
	3	4	新型コロナウイルス感染症予防のため、3月19日まで市立高校の臨時休業措置実施	
	3	31	浜幼稚園、元吉原幼稚園を閉園	
	4	1	神戸小学校、元吉原小学校、東小学校、大淵第一小学校、富士第一小学校、富士南小学校、天間小学校、富士川第一小学校に学校運営協議会を設置	
	4	9	新型コロナウイルス感染症予防のため、5月21日まで市立小・中学校及び市立高校の臨時休業措置実施	
	5	17	新型コロナウイルス感染症予防のため、市立高校において在宅生徒とのオンラインを介したホームルームや授業形式の学習などを開始	
	5	22	新型コロナウイルス感染症予防のため、5月29日まで市立小・中学校の分散登校実施	
	5	22	市立高校の通常登校開始	
	6	1	市立小・中学校の通常登校開始	
	12	25	G I G Aスクール構想用タブレット整備（中学校整備完了）	
	3	3	25	G I G Aスクール構想用タブレット・大型提示装置整備（小学校整備完了）
		4	1	まちづくりセンター講座を、市民部まちづくり課による補助執行から社会教育課の直接執行へと改める。
4	8	25	新型コロナウイルス感染症予防のため、8月31日まで市立小・中学校の夏季休業を延長	
	9	1	新型コロナウイルス感染症予防のため、9月10日まで市立小・中学校の時差式分散登校実施（緊急事態宣言中）	
	10	1	大型提示装置整備（中学校整備完了）	
	3	31	大淵幼稚園、南幼稚園を閉園	
	4	1	機構改革により、市民部文化振興課から分離した文化財課、及び博物館の所管を開始 富士市立富士川第二小学校、及び富士市立富士川第二中学校による施設一体型小中一貫校「富士川第二小中一貫校 松野学園」を開校	
	6	15	市立図書館に電子図書館システム「ふじ電子図書館」を導入し、電子書籍貸出サービスを開始	
	8	30	G I G Aスクール構想用タブレット追加整備（小学校1・2年生用）	
	2	1	移動図書館「ふじ号」を旧車両から更新、軽自動車2台体制での運行を開始 タブレットを活用した「ほっとデジタル相談・ふじ」を開設	
	3	31	G I G Aスクール構想用タブレット整備（市立高校整備完了） 田子浦小学校に外国人児童生徒支援のための国際教室を新設 原田幼稚園を閉園	
	5	4	1	学校給食公会計化開始 大淵第二小学校を大淵第一小学校に編入統合 （明治37年4月1日大淵尋常高等小学校に大坂分教場として創立。令和4年3月児童数23名となる）

2 富士市教育委員会委嘱の各種名簿

※時点を記載していないものについては、令和5年6月1日現在の名簿となります。

※任期途中で人事異動等により就任した委員の任期は、前任者の残任期を引き継いでいます。

※各種名簿の備考欄に記載されている役職等については、委員就任時の役職等を記載しています。

(1) 富士市教育委員会自己点検・評価に関する外部評価検討会委員名簿

任期 自 令和5年4月1日
至 令和7年3月31日

No.	氏 名	備 考
1	島田 桂吾	静岡大学大学院教育学研究科准教授
2	石川 誠	静岡県校長会事務局 元富士市校長会会長
3	工藤 千麻琴	富士商工会議所青年部副会長 元富士市立高等学校学校運営協議会委員
4	星野 恵美子	特定社会保険労務士 青少年教育指導者

(2) 富士市いじめ問題対策推進委員会委員名簿

任期 自 令和5年4月1日
至 令和7年3月31日

No.	氏 名	備 考
1	永房 典之	大学教授
2	佐野 良行	弁護士
3	高木 啓	医師
4	鈴木 隆広	臨床心理士
5	齋藤 朝子	社会福祉士

(3) 富士市いじめ問題対策連絡協議会委員名簿

任期 自 令和3年7月1日
至 令和5年6月30日

No.	氏 名	備 考
1	齋藤 隆裕	富士市校長会会長（富士第一小学校校長）
2	望月 敏行	富士市教育研究推進会小学校生徒指導部部長（岩松北小学校校長）
3	竹内 勉	富士市教育研究推進会中学校生徒指導部部長（吉原第二中学校校長）
4	梅原 高志	静岡地方法務局富士支局長
5	河守 健一	静岡県富士児童相談所育成課長
6	朝比奈 利光	富士警察署生活安全課長
7	服部 英之	富士市PTA連絡協議会会長
8	高木 豊	富士市福祉部障害福祉課長
9	本多 直人	富士市こども未来部こども未来課長
10	沓澤 真弓	富士市こども未来部こども家庭課長
11	江村 輝彦	富士市教育委員会教育次長
12	吉田 和洋	富士市教育委員会社会教育課長兼青少年教育センター所長
13	川口 壽彦	富士市教育委員会青少年相談センター所長
14	櫻井 祥行	富士市立高等学校校長
15	齋藤 文徳	富士市教育委員会学校教育課長

(4) 富士市学校結核対策委員会委員名簿

任期 自 令和5年4月1日
至 令和6年3月31日

No.	氏 名	備 考
1	下 窪 匡 章	静岡県富士保健所長
2	望 月 衛	富士市医師会代表（望月医院）
3	堀 場 映 子	富士市学校医代表（松野こどもクリニック）
4	遠 藤 繁	結核専門医（遠藤内科医院）
5	福 島 潤 子	富士市校長会（富士市立天間小学校長）
6	藁 科 美 輪 子	養護教諭代表（富士市立広見小学校）

(5) 富士市学校給食運営審議会委員名簿

任期 自 令和4年4月1日
至 令和6年3月31日

No.	氏 名	備 考
1	服 部 英 之	富士市PTA連絡協議会会長
2	榮 賀 隆 幸	富士市PTA連絡協議会
3	小 櫛 和 子	富士市学校給食等地場産品導入協議会会長
4	遠 藤 卯 美	公募委員
5	来 住 紗 依	公募委員
6	大 村 倫 生	学識経験者（富士市薬剤師会代表）
7	和 泉 清 明	学識経験者（公認会計士）
8	大 石 萌 香	静岡県富士保健所管理栄養士
9	小 野 田 清 美	富士市校長会（富士市立富士第二小学校長）
10	望 月 香 織	富士市校長会（富士市立吉原北中学校長）

(6) 富士市社会教育委員名簿

任期 自 令和4年6月1日
至 令和6年5月31日

No.	氏 名	備 考
1	四 條 秀 樹	富士市立富士見台小学校 校長
2	清 大 輔	富士市立吉原第三中学校 校長
3	荻 野 克 雄	富士市町内会連合会 会長
4	吉 村 てるゑ	女性ネットワーク・富士 副会長
5	齋 藤 清 隆	富士市まちづくり協議会連合会 会長
6	辻 村 典 枝	富士市文化連盟 会長
7	山 野 政 宏	富士市スポーツ協会 会長
8	中 澤 公 一	富士市子ども会世話人連絡協議会 会長
9	服 部 英 之	富士市PTA連絡協議会 会長
10	戸 田 正 明	日本ボーイスカウト静岡県連盟 理事
11	上 野 朋 子	富士市立高等学校 教頭
12	猿 田 真 嗣	学識経験者
13	菅 井 良 美	学識経験者
14	太 田 眞 弓	学識経験者
15	山 田 千 津 子	学識経験者
16	渡 辺 美 恵 子	学識経験者
17	武 内 美 貴 乃	学識経験者

(7) 富士市図書館協議会委員名簿

任期 自 令和5年6月1日
至 令和7年5月31日

No.	氏 名	備 考
1	鈴 木 守	常葉大学教育学部生涯学習学科教授
2	渡 辺 美 恵 子	きらり交流会議委員長
3	榮 賀 隆 幸	富士市PTA連絡協議会顧問
4	福 本 拓 子	富士・子どもの本を学ぶ連絡会
5	窪 田 かづ江	富士市立図書館音訳ボランティア
6	木 三 田 哲 一	公募委員
7	本 多 佐 和 子	公募委員
8	田 中 尚 志	富士市校長会（富士市立丘小学校校長）

(8) 富士市子ども読書活動推進協議会委員名簿

任期 自 令和3年7月1日
至 令和5年6月30日

No.	氏名	備考
1	村山 功	静岡大学大学院教育学領域教授
2	中澤 宏美	富士・子どもの本を学ぶ連絡会
3	曾根田亜樹子	富士市PTA連絡協議会顧問
4	大平 純子	静岡県立富士特別支援学校教諭
5	大庭 公洋	富士地区私立幼稚園協会（わかば幼稚園園長）
6	中川 美智子	富士市民間保育園連盟（ひな保育園園長）
7	堀田 響子	公募委員
8	榎本 博子	公募委員
9	大村 教人	公募委員
10	田中 尚志	富士市校長会（富士市立丘小学校校長）
11	酒井 秀美	公立保育園・幼稚園長会会長（蓼原保育園園長）
12	勝又 誠	富士市立高等学校教諭

(9) 富士市青少年問題協議会委員名簿

任期 自 令和3年12月1日
至 令和5年11月30日

No.	氏名	備考
1	小長井 義正	富士市長
2	森田 嘉幸	富士市教育長
3	下田 良秀	富士市議会産業教育委員長
4	小高 義久	富士警察署生活安全課長
5	山下 強志	富士健康福祉センター福祉課長
6	若月 佳妙	富士市立東小学校校長
7	櫻井 祥行	富士市立高等学校校長
8	片岡 佳美	県立富士特別支援学校
9	太田 眞弓	富士市社会教育委員会会議副委員長
10	半田 育子	富士市民生児童委員協議会理事
11	杉山 美佐子	富士地区保護司会副会長
12	清 泰雅	富士市青少年指導委員会会長
13	望月 美穂	静岡県富士児童相談所長
14	鈴木 和久	富士公共職業安定所
15	石川 伸宏	富士市社会福祉協議会常務理事兼事務局長

（令和5年3月31日現在）

(10) 富士市青少年相談センター運営協議会委員名簿

任期 自 令和5年6月1日
至 令和7年5月31日

No.	氏名	備考
1	櫻井 祥行	富士市立高等学校長
2	清 泰雅	富士市青少年指導委員会会長
3	朝比奈 利充	富士警察署生活安全課長
4	沓澤 真弓	富士市こども未来部こども家庭課長
5	望月 一輝	富士市PTA連絡協議会副会長
6	遠藤 清嗣	富士市まちづくり協議会連合会副会長
7	丸山 陽一	富士市社会福祉協議会主査
8	齋藤 由美	公募委員
9	本多 佐和子	公募委員
10	吉川 智子	富士市民生委員児童委員協議会 富士北地区 主任児童委員
11	望月 敏行	小・中学校校長会代表
12	遠藤 啓之	学識経験者

(11) 富士市子ども・若者支援協議会委員名簿

(令和5年度委員)

No.	氏名	備考
1	鈴木 康弘	富士公共職業安定所長
2	山登 康治	静岡県富士児童相談所長
3	土屋 規之	静岡県富士健康福祉センター福祉課長
4	朝比奈 俊充	富士警察署生活安全課長
5	江村 輝彦	教育委員会教育次長
6	玉舟 正弥	福祉部福祉総務課長
7	遠藤 弘夫	福祉部生活支援課長
8	高木 豊	福祉部障害福祉課長
9	沓澤 真弓	こども未来部こども家庭課長
10	押見 賢二	保健部健康政策課長
11	岡田 裕一	産業交流部商業労政課長
12	齋藤 文徳	教育委員会学校教育課長
13	吉田 和洋	教育委員会社会教育課長
14	川口 壽彦	教育委員会青少年相談センター所長
15	石川 伸宏	富士市社会福祉協議会常務理事兼事務局長

(12) 富士市教育文化スポーツ奨励賞選考委員会委員名簿

(令和4年度委員)

No.	氏名	備考	No.	氏名	備考
1	菅井 良美	富士市社会教育委員長	5	山田 幸男	学識経験者(前富士市教育長)
2	辻村 典枝	富士市文化連盟会長	6	山野 政宏	富士市スポーツ協会会長
3	松本 玲子	学識経験者	7	山本 秀和	富士市スポーツ推進委員会委員長
4	森田 嘉幸	富士市教育長	8	若月 佳妙	富士市校長会(東小学校校長)

(13) 富士市文化財保護審議会委員名簿

任期 自 令和5年5月1日

至 令和7年4月30日

No.	氏名	備考	No.	氏名	備考
1	秋山 憲行	富士自然観察の会 樹木医	6	菊池 邦彦	東京都立産業技術高等専門 学校名誉教授
2	池谷 初恵	伊豆の国市文化財調査員 日本貿易陶磁研究会員	7	田島 整	上原美術館主任学芸員 伊東市・下田市文化財保護審議会委員
3	大高 康正	静岡県富士山世界遺産 センター教授	8	新妻 淳子	静岡文化芸術大学准教授
4	金指 とも子	駿河郷土史研究会役員	9	松田 香代子	愛知大学非常勤講師 日本民俗学会員
5	河内 えり子	佐野美術館学芸グループ長 三島市文化財保護審議会委員	10	山本 玄珠	東海大学客員研究員 日本地質学会員、静岡県地学会員

(14) 富士市立博物館協議会委員名簿

任期 自 令和5年6月1日

至 令和7年5月31日

No.	氏名	備考	No.	氏名	備考
1	稲垣 まゆ美	富士市立広見小学校校長	6	高井 忠満	富士市介護保険事業者 連絡協議会副会長
2	田中 尚志	富士市立丘小学校校長	7	外立ますみ	日本民具学会会員
3	小澤 緑	富士自然観察の会会長	8	渡邊 康弘	日本考古学協会会員
4	加藤 昭夫	駿河郷土史研究会会長	9	佐野 美幸	公募委員
5	飯野 修	静岡県工業技術研究所富士 工業技術支援センター長	10	本多 佐和子	公募委員

3 富士市の社会教育関係団体一覧表

団 体 名 代 表 者 名	加入団体数 会員数	所 管 課 事 務 局 所 在 地	電 話
富士市 P T A 連絡協議会 会 長 服部 英之	42 18,560 人	学務課 〒417-8601 富士市永田町1丁目100番地	51-0123 内 2747
富士市子ども会世話人連絡協議会 会 長 中澤 公一	24 9,662 人	社会教育課 〒417-0024 富士市八代町1番1号	55-0560
ボーイスカウト富士地区協議会 協議会長 鈴木 孝治	8 348 人	社会教育課 〒417-0024 富士市八代町1番1号	55-0560
ガールスカウト富士地区連絡協議会 代 表 米田 容子	3 55 人	社会教育課 〒417-0024 富士市八代町1番1号	55-0560
富士市文化連盟 会 長 辻村 典枝	96 1,929 人	文化スポーツ課 〒417-8601 富士市永田町1丁目100番地	51-0123 内 2807
富士市民俗芸能連絡協議会 会 長 内山 義和	8 229 人	文化財課 〒417-0061 富士市伝法66番地の2	33-7850
富士市スポーツ協会 会 長 山野 政宏	42 19,349 人	文化スポーツ課 〒417-0041 富士市御幸町8番1号	53-6045(スポーツ協会)
富士市スポーツ少年団 本部長 伊藤 幸雄	62 1,468 人	文化スポーツ課 〒417-8601 富士市永田町1丁目100番地	51-0123 内 2803
女性ネットワーク・富士 会 長 内田 貴子	1 120 人	市民活躍・男女共同参画課 〒417-8601 富士市永田町1丁目100番地	51-0123 内 2336
富士市青少年指導委員会 会 長 清 泰雅	1 126 人	青少年相談センター 〒417-0024 富士市八代町1番1号	52-4152